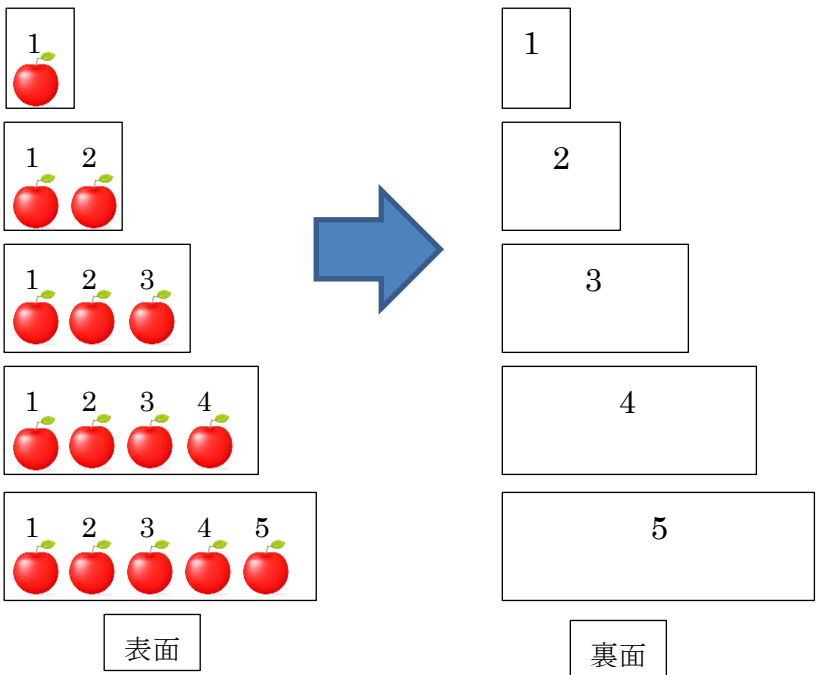


大項目	数の概念
小項目	概括
タイトル	数字量感カード
目的 身につけてほしい力	数の概念の形成に必要な「概括」の操作ができる
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	 ・ 1 ～ 5（10）の数字と具体物を書いた同じ比率で長くなっていくカードを用意する。 ・ カードの裏面に、その全体の量を表す数字を書く。
教材の使用方法	・ カードの表面を見せ「りんごは全部で何個ありますか？」と質問する。 ・ 児童生徒に何個か答えることを促す。数量を答えられる場合は、概括を獲得していると考えられる。 * 答えられない場合（5まで数えられるが、5個と答えられない） ・ 表面の数字を1から順番に数唱することを促す。 （児童生徒によっては、指さししながら数唱する。） ・ カードを裏に返して、全体の量を確認する。
その他	参考文献「支援教育をサポートする読み・書き・計算指導事例集」 （梅田真理編著、ナツメ社、2016年）